KITABO

2025年9月25日

各　位

会 社 名　　株式会社北紡
代表者名　　代表取締役社長　粕谷　俊昭
（コード：3409　東証スタンダード）
問合せ先　　専務取締役　篠原　顕二郎
（TEL．076－277－7530）

エレクス株式会社と生成AIデータセンター事業に関しMOU（基本合意書）締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、エレクス株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役：鈴木　良雄、以下「エレクス社」）と生成AIデータセンター事業に関してMOUを締結いたしましたので、下記の通りお知らせします。先ずは、下記に記載いたしました各項目に関しまして両社間で十分な協議及び検討を本格的に行っていき事業の具体的内容がまとまり次第、適時開示でお知らせいたします。

記

1. MOU締結の背景と目的

近年、生成AIの急速な進展に伴い、生成AI向けデータセンターの重要性が世界的に高まっており、今後10年における需要の高成長が見込まれております。具体的には、生成AIの活用に伴う高性能計算インフラ需要の増加により、生成AI向けデータセンター市場は、2032年までに世界全体で約15兆円規模へ拡大するとの試算もあり、日本国内においても、官民問わずAI戦略を支えるインフラ整備のニーズが急速に高まっています。

当該分野においては、電力、冷却能力の安定確保、環境対応、GPU等の供給が事業の成功を握る要素であり、同時に今後の市場は、ますます分散型AIインフラ（中央集権型クラウドから、エッジコンピューティング・地域分散型データセンターへの移行）及びグリーンデータセンター（再生可能エネルギーの活用や冷却効率の向上）への転換が進むと予測されております。このような業界の動向を踏まえ、当社は自社の経営資源を活用し、生成AI向けコンテナ型データセンター事業への本格参入を検討することといたしました。管理サーバや一部のGPUについては既存の工場建屋を活用することで、初期投資の抑制と導入スピードの確保が可能であり、本事業における重要な優位性の一つと認識しております。さらに、既存の取引関係や人的ネットワークを通じて有力な顧客基盤へアプローチできる点も、本事業推進における強みとして積極的に活かしてまいります。

本事業は、当社の本社所在地である白山本社工場敷地内において計画しており、同工場にはデータセンター事業に必要な十分なスペースが確保されているほか、冷却に必要な井戸水の安定供給体制も整備可能です。また、将来的には当社が準備を進めているバイオマス発電を含む再生可能エネルギーによる電力の活用も視野に入れております。さらに、事業の中核をなす高性能GPUサーバーの安定的な供給については、実績を有するエレクス社及びエレクス社の関連会社より供給が見込まれており、最新のNVIDIA B200、B300及びH200を搭載したGPUインフラの構築を計画しております。当社は、この取り組みを通じて、「AI戦略の下支えをするためのGPUインフラDC網の確立」を企業ミッションとして掲げ、急速に変化する生成AI市場のインフラ基盤を担う存在となることを目指します。

このような背景のもと、急速に変化する生成 AI 関連市場において競争力を確保するためには、同分野に強みを持つ企業との提携が不可欠であると判断し、エレクス社と MOU を締結いたしました。なお、当社は 2025 年 7 月 16 日付「(開示事項の経過)株式会社プライヤーズとの資本提携に関するお知らせ」にて開示したとおり、株式会社プライヤーズとは資本関係にあり、同社からエレクス社の紹介を受けた経緯があります。本 MOU の締結により、両社の経営資源・技術力を融合し、生成 AI 向けコンテナ型データセンター事業の早期立ち上げ及び市場ニーズへの迅速な対応を図ってまいります。

2. MOU の内容

本 MOU においては、「マーケティング及び事業計画の作成支援」に関する協力事項を定めております。なお、以下の内容については、現時点での想定事項であり、両社間で内諾済みのものとして整理しております。

(1) マーケティング活動に関する協力事項

・ 市場調査と分析

両社は潜在顧客の調査・分析を実施し、ターゲット市場のニーズと傾向を把握する。

・ ブランディング及びマーケティング

両社はブランド戦略を策定し、市場におけるブランドポジショニングやブランドイメージの構築に取り組む。広告・プロモーション・PR 施策などを含むマーケティング活動を通じて、ブランドの認知度向上及び販売促進を図り、デジタルマーケティングについても、それぞれのノウハウを活かし、オンラインチャネルを活用したプロモーションを推進する。

・ 市場開拓支援

本格的な市場参入に向けて、市場調査・分析の結果を踏まえた戦略立案を共同で実施し、販売・マーケティングの各種支援を行う。

(2) 事業計画の策定

上記のマーケティング活動により具体的なビジネス機会が確認された場合には、両社にて速やかに事業計画の立案を行う。

・ 初期投資の算定及び資金調達計画

事業開始に必要な初期投資額の算出を行い、補助金・助成金の活用可能性についても検討する。

・ 組織体制の確立

事業推進に必要な適切な人材の確保及び組織体制の整備を行う。

3．エレクス社の概要

(1)	名称	エレクス株式会社
(2)	所在地	埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-6-19 高砂パークスペースビル
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役　鈴木　良雄
(4)	事業内容	ソフトウェアの企画、設計、開発、販売 業務アプリケーションシステム Web、モバイル、通信系システム マイコン・OS・ドライバ等、制御系システム パッケージソフトウェア企画、販売

		システムコンサルタント Web サイト構築、コンテンツ作成 ネットワーク構築 情報機器販売 ソフトウェア検証事業 データセンター運営
（5）	資本金	4,800 万円
（6）	設立年月日	1993 年 11 月
（7）	大株主及び持株比率	鈴木　良雄(75%)
（8）	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

（9）　当該会社の最近３年間の経営成績及び財政状態

決算期	2022 年 10 月期	2023 年 10 月期	2024 年 10 月期
純資産	317 百万円	360 百万円	489 百万円
総資産	995 百万円	1,209 百万円	1,314 百万円
１株当たり純資産	1,319 千円	1,498 千円	2,036 千円
売上高	1,283 百万円	1,430 百万円	1,645 百万円
営業利益	95 百万円	81 百万円	191 百万円
経常利益	88 百万円	92 百万円	204 百万円
当期純利益	66 百万円	百万円	143 百万円
１株当たり当期純利益	276 千円	239 千円	597 千円
１株当たり配当金	60 千円	60 千円	60 千円

４．日程

（1）　取締役会決議日	2025 年９月 25 日
（2）　契約締結日	2025 年 10 月１日（予定）

５．今後の見通し

2026 年３月期の業績予想につきましては、本件は織り込んでおりません。今後の当社業績に与える影響については、詳細が判明次第、業績予想を適宜見直して、適時かつ適切に開示してまいります。

以上